

持続可能なピースツーリズムの実現に向けた7つの方向性と市民・来訪者参加型取組案

被ばくの実相を知ってもらうことで平和を考える

来訪者に被ばくの実相を知ってもらい、平和への思いを共有する場を作る

グローバル視点で平和を考える

平和拠点 (World Center for Peace) として広島で多様な人が一緒に楽しむことができる場を作る = 国際平和文化都市

市民・来訪者参加型の取組

今後の方向性

1 被ばくの実相を伝える取組の継続

被ばく証言、被ばく建物・樹木の保存・活用等の継続

次世代への継承、世界中の人を対象にした伝承活動

2 関連資料・情報の収集・集約

デジタルコンテンツとして集約・整理 (戦前、被爆時、復興期の写真等)

多様な情報 (復興時の各国からの支援等) の整理、多言語化等対象別の発信

3 ルート・マップの活用増

ピースツアーの継続・発展: ピースボランティア、PCV、sokoiko! など

▶ 修学旅行プログラム化
▶ ガイド人材育成
▶ 謎解きゲーム等遊び・学ぶ手法導入

4 ホームページの活用・閲覧増

活動団体 (懇談会委員ほか活動団体) のHPでの紹介

▶ ランディングページの制作 (デジタルハリウッドとの連携)、SNS広報展開

5 ピースツーリズム推進の体制づくり

活動団体のネットワーク化、懇親会・情報交換会の実施

▶ 総合相談窓口としての事務局機能 (プラットフォーム) の確立

6 平和構築 (Peace Building) を学ぶ場づくり

- ▶ 平和構築プログラムの企画・立案・実施
- ▶ XR観光プラットフォームの構築
- ▶ インバウンド修学旅行への展開
- ▶ アドベンチャーツーリズム×ピースツーリズム = チームビルディング
- ▶ 長期滞在プログラム化

7 平和を感じるまちとなるための取組推進

- ▶ 広島の日常を体験するツアー造成
- ▶ 平和都市広島の情報発信 (動画作成等)
- ▶ 広島の人と世界の人が交流する場づくり (オンライン、オフライン)

広島市 ピースツーリズム

目的: 本市を訪れた国内外からの来訪者と市民が平和への思いを共有する

そのために、平和関連施設等を円滑に周遊するための環境整備を行うとともに、国内外からの来訪者にヒロシマの被爆の実相等を伝えていく

このことを、市民・行政・関係機関が一体となって取り組む

これまでに、市内の主要な平和関連施設等を巡るルートを設定し、マップ・ホームページを作成